

日本史 A

(解答番号 1 ~ 32)

第1問 次の文章A・Bは、「近代日本における洋装」というテーマで調査発表をすることになった、史央理さんと由華梨さんとの会話である。この文章を読み、下の問い合わせ(問1~6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 20)

A

史央理：この前の成人式で振袖を着た姉が、普段は洋服しか着ないから、着付けに時間がかかって大変だったといっていたよ。今の日本では洋服が普段着だけど、その始まりは文明開化なのかな。

由華梨：そういうえば、アなどの安政の五カ国条約の改正予備交渉にのぞもうとした岩倉使節団の写真を見たことがあるよ。大使の岩倉具視を除いて、副使たちは洋装だった。近代化を進める政府の姿勢をあらわしているようだね。

史央理：自由民権運動の演説会を描いた絵(図1)でも、洋装をした警察官が和装の弁士を制止している。ア官と民の対比がうまく描かれているね。

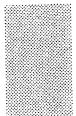
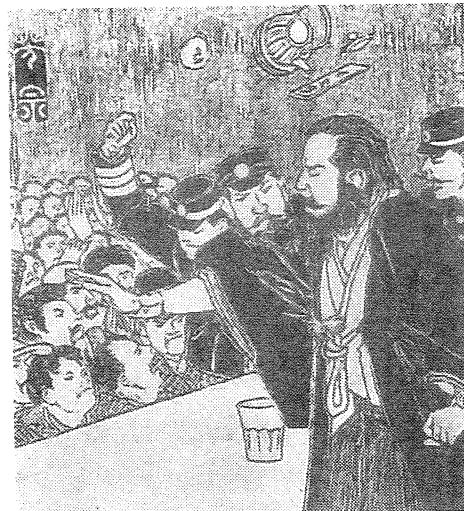
由華梨：男性に比べると、女性の洋装化は遅れたみたい。日本髪は洋服と釣り合いがとれないのに、女性の断髪が禁止されていた時期もあったんだって。

史央理：へえ、なんだ。男性には散髪が奨励されて、文明開化の象徴とされたのとは対照的だね。日本髪を結ったまま生活するって、すごく大変そう。

由華梨：そこで女性にもイ束髪という髪型を広める運動が起きたんだ。束髪は日本髪と比べて手軽で自由に結えて、洋装でも和装でも使える便利さから、あつという間に広まったんだって。日露戦争で日本軍がイを占領した頃に流行した「二百三高地」など、世相を反映した束髪もあったよ。

史央理：和服よりも、洋服のほうが運動性にもすぐれているよね。女性が社会で広く活動できるようになるには、服装や髪型にも工夫が必要だったのね。

図1 『絵入自由新聞』



問1 空欄 ア イ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- | | | |
|---|------------|-------|
| ① | ア 日米修好通商条約 | イ 青 島 |
| ② | ア 日米修好通商条約 | イ 旅 順 |
| ③ | ア 日米和親条約 | イ 青 島 |
| ④ | ア 日米和親条約 | イ 旅 順 |

問2 下線部④に関連して、明治期における政府と政党との関係について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 大隈重信は明治六年の政変で下野したのち、立憲改進党を結成した。
- ② 自由党は日清戦争後も一貫して政府と対立し、軍備拡張予算に反対した。
- ③ 政府が提出した地租増徴案に反対して、自由党と進歩党が立憲政友会を結成した。
- ④ 日本社会党が結成されると、政府はこれをいったん認めたが、解散を命じた。

日本史A

問 3 下線部⑥に関連して、1885年に設立された「婦人束髪会」の趣旨を記した次の史料を読み、下の文X・Yの正誤の組合せとして正しいものを、下の①~④のうちから一つ選べ。図2はこの史料が掲載された出版物である。 3

史料

従前の慣習たる島田髷・丸髷(注1)などの如きは、種々況々の雑品を毛の中へ挿むが故に(中略)衛生上に害を釀すこと僅かならず。よつて現に此束髪会を設け、従前の弊害を脱せんとするの工夫なり。(中略)是乃ち文明進歩人智發達の期にかなふが故に、其便利と經濟と衛生上などを思ふが為なり。然りと雖も、いまだ旧習を踏むの徒は此束髪会に変ぜし婦人を見て、お転婆あるいは刎上りなどと風潮(注2)すれど、そは訣て信とするに至らず。是一時風俗の遷するを羨みて云者なれば、是等の人に欺かれて止り給ふこと勿れ。

(注1) 島田髷・丸髷：日本髷の代表的な髷型。

(注2) 風潮：言いふらすこと。吹聴。

図2 『大日本婦人束髪図解』



X この史料は、髷を結う従来の習慣を文明進歩の時代にかなうとしている。

Y この史料は、束髪を結う女性を批判する人がいることを指摘している。

- ① X 正 Y 正
③ X 誤 Y 正

- ② X 正 Y 誤
④ X 誤 Y 誤

B

由華梨：女性の洋装化が遅れるといつても、1920年代にはモダンガールが登場するし、職業婦人が洋服で仕事をする姿もみられたじゃない。パーマが人気を集めて、1939年までに美容院が東京では850軒もできたんだって。

史央理：1925年5月に銀座を歩く女性の服装を調べたら、洋装はわずか1%だったという数字もある。このとき男性の洋装率は67%だったそうだよ。

由華梨：それは第一次世界大戦期に、④第二次・第三次産業の男性労働者が増加した側面もあると思う。

史央理：サラリーマンには通勤着として洋服が浸透していくようだけど、家庭のかだと男性も和装をしていたみたいだね。

由華梨：戦後になると、女性でも洋装の人がずいぶん増えたみたい。⑤戦時中には、和服よりも活動性にすぐれているモンペの着用が、女性の間で進んで、洋装への抵抗感が小さくなっていたのかもね。

史央理：ミシンが普及したり、洋裁学校へ通う人が増加したりして、女性が家庭で洋服を作るようにもなったよ。

由華梨：洋装の普及は人々の生活の変化と密接にかかわっていたんだね。⑥高度経済成長期の消費革命で服装がどのように変わったのか、さらに調べていきたいな。

日本史A

問 4 下線部②に関連して、1910～30年代の労働者にかかわる組織について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 4

- Ⅰ 労働者の地位向上と労資協調をとなえた友愛会が結成された。
Ⅱ 日本労働総同盟は、産業別の編成をとり、頻発する労働争議を指導した。
Ⅲ 職場ごとに、労資一体の産業報国会が結成された。

- ① Ⅰ—Ⅱ—Ⅲ ② Ⅰ—Ⅲ—Ⅱ ③ Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ
④ Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ ⑤ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ ⑥ Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ

問 5 下線部③に関連して、1940年代の女性について述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 5

- X 未婚の女性が組織され、おもに軍需工場の労働力として動員された。
Y この人物の内閣が行った総選挙で、女性がはじめて代議士に当選した。

- a 女子挺身隊 b ひめゆり(学徒)隊
c 幣原喜重郎 d 吉田茂

- ① X—a Y—c ② X—a Y—d
③ X—b Y—c ④ X—b Y—d

問 6 下線部②)に関連して、この時期の耐久消費財に関して述べた次の文 a ~ dについて、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 6

- a 1950年代後半に、「三種の神器」の一つであるクーラーの普及が始まった。
- b 1960年代後半に、各家庭へのカラーテレビの普及が始まった。
- c 日米貿易摩擦解消のため自動車の輸入が増加し、自家用車が普及した。
- d 電気洗濯機や電気冷蔵庫などの電化製品が、農村にも普及した。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

日本史A

第2問 明治期の地方制度に関する次の文章を読み、下の問い合わせ(問1～4)に答えよ。(配点 12)

明治新政府は、①戊辰戦争のさなか、各地で旧幕府領を接収する一方、諸大名にも自らに従うよう求めた。直轄地には府と県をおき、大名領を藩として、当初は、従来どおり大名の所領支配を容認した。1871年には、薩摩・長州・アの3藩の軍事力を背景に廃藩置県を断行し、各府県には府知事や県令を中央から派遣し、支配にあたらせた。

府県の下の行政区画については、政府は大区小区制を導入したが、全国で統一的に施行されたわけではなかった。1878年には、これを廃止し、都市部を区、その他を郡とし、その下に町村をおくイを施行した。そして、郡・区に郡長・区長、町村に戸長がおかれた。

1888年、②政府は、顧問として雇ったドイツ人モッセの助言を得て、市町村を自治体として認める市制・町村制を制定し、ついで1890年には府県制・郡制を定めた。この時期には③中央の制度改革もさかんに行われている。

問1 空欄ア　イに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① ア 越 前 イ 郡区町村編制法
- ② ア 越 前 イ 地方自治法
- ③ ア 土 佐 イ 郡区町村編制法
- ④ ア 土 佐 イ 地方自治法

問 2 下線部②の時期の新政府がとった施策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 五箇条の誓文を公布し、四民平等を定めた。
- ② 五榜の掲示を出し、キリスト教を許可した。
- ③ 政体書を制定し、中央政府の組織を整えた。
- ④ 徴兵令を出し、集めた兵によって旧幕府軍と戦った。

問 3 下線部⑤に関連して、お雇い外国人に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

9

- X ロエスレルは、大日本帝国憲法の起草にあたり助言した。
 Y フェノロサは、日本の伝統美術の復興につとめた。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

問 4 下線部②に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 10

- I 太政官制が廃され、内閣制度が定められた。
 II 天皇の最高諮問機関として枢密院が設置された。
 III 欽定憲法として大日本帝国憲法が発布された。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| ① I - II - III | ② I - III - II | ③ II - I - III |
| ④ II - III - I | ⑤ III - I - II | ⑥ III - II - I |

日本史A

第3問 近代日本における動物と人間との関係に関する次の文章A・Bを読み、下の問い合わせ(問1～6)に答えよ。(配点 19)

A 人間は、動物と多様な関係を取り結んできた。食の側面からみると、江戸時代にも肉食は一部で行われていたが、広く普及してはいなかつた。しかし、明治初期に **ア** が流行したように、肉食はしだいに一般的になっていく。

輸送手段においても動物との関係は変化した。たとえば、**ア** 明治初期には西洋にならって馬車が使用されるようになった。馬車は、煉瓦造の洋館や **イ** などとならぶ文明開化の象徴として、当時の錦絵などに多く描かれた。自動車が普及するまで、馬は、同じく輸送手段として多く用いられた牛どならんで、都市部でも日常的に目にする、なじみの深い動物であった。

しかし、西洋風の重い車をひかされ、過重な荷物を負わされる馬や牛の姿は、人々のあわれみをも誘った。1902年に**⑤** 日本最初の動物愛護団体である動物虐待防止会が結成され、キリスト教徒、仏教徒、学者、ジャーナリスト、政治家、実業家などきわめて多彩な人々が参加した。同会は牛馬を酷使することを批判し、市街地に牛馬のための水飲み場を設置するなどした。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **11**

- ① ア 牛 鍋 イ デパート
- ② ア 牛 鍋 イ ガス灯
- ③ ア トンカツ イ デパート
- ④ ア トンカツ イ ガス灯

問 2 下線部②に関連して、明治初期の乗り物に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

12

X 人力車が登場し広く普及した。

Y 日本で最初の鉄道が京都－大阪間に開通した。

- ① X 正 Y 正
③ X 誤 Y 正

- ② X 正 Y 誤
④ X 誤 Y 誤



問 3 下線部⑤に関連して、この団体に参加した人物に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 13

I 安部磯雄が教壇に立つ早稲田大学が、大学令により私立大学として認可された。

II 渋沢栄一らが、国立銀行条例による最初の銀行である第一国立銀行を設立した。

III 堀利彦が、『万朝報』の方針転換に抗して同社を辞し、『平民新聞』を創刊した。

- ① I - II - III
④ II - III - I

- ② I - III - II
⑤ III - I - II

- ③ II - I - III
⑥ III - II - I

日本史A

B テレビの時代劇などで、江戸時代の武士が乗っている馬は大きく立派な体格だが、実際に彼らが乗っていたのは小柄な日本馬であった。④日清・日露両戦争に際して、農村から馬が軍用として徴発されたが、体格の小さな日本馬は軍用に適さないことが明らかになり、その後、軍の主導で洋種血統の導入による馬の改良が全国的に行われ、純粋な在来馬は数を減らしていった。

戦争と動物ということでは、大正期以降には犬や鳩も軍犬・軍鳩として活用された。他方、犬とならんで①ペットとして人気のある猫は軍用に使役されることはなかった。しかし猫が愛玩用以外にまったく用いられなかつたわけではなく、養蚕地帯では江戸時代から明治にいたるまで、ねずみの駆除のために多く飼育されていた。また明治期にペストが流行すると、⑤ドイツ人医学者コッホの説により、警視庁や東京市・横浜市などが、感染の媒介となるねずみの駆除のために猫の飼育を奨励するにいたり、海外からの猫の輸入も行われた。

問 4 下線部④に関連して、日清・日露戦争前後の状況について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 日清戦争では賠償金を獲得できなかつたため、国民の不満が高まつた。
- ② 日清戦後のいわゆる松方デフレにより農村の小作地率が上昇した。
- ③ 日露戦争開戦前には、ロシアとの開戦を主張する世論はほとんどみられなかつた。
- ④ 日露戦後の農村の疲弊に対し、勤労や節約などを説く戊申詔書が発布された。

問 5 下線部①に関連して、この動物を主人公とする小説の表紙や挿絵として描かれた次の絵甲・乙に関して述べた下の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 15

甲



橋口五葉装丁

(『吾輩ハ猫デアル』下編表紙)

乙



浅井忠画

(『吾輩ハ猫デアル』下編挿絵)

- a 甲・乙の絵が掲載された小説の作者は芥川龍之介である。
- b 甲・乙の絵が掲載された小説の作者は夏目漱石である。
- c 乙の絵を描いた人物が学んだ工部美術学校では、西洋美術について教育をした。
- d 乙の絵を描いた人物らは日本美術院を創設し、日本の伝統絵画制作の新たな担い手となった。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

日本史A

問 6 下線部⑥に関連して、この人物の細菌学を受け継いだ人物について述べた次の文X・Yと、それに該当する人物名a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

X 伝染病研究所を設立し、ペスト菌の発見や破傷風の血清療法の確立などの功績を残した。

Y 伝染病研究所において赤痢菌を発見した。

a 北里柴三郎 b 野口英世 c 長岡半太郎 d 志賀潔

① X—a Y—c

② X—a Y—d

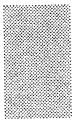
③ X—b Y—c

④ X—b Y—d

日本史A

(下書き用紙)

日本史Aの試験問題は次に続く。



日本史A

第4問 日本とオリンピックとのかかわりに関する次の文章A～Cを読み、下の問い合わせ(問1～8)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 24)

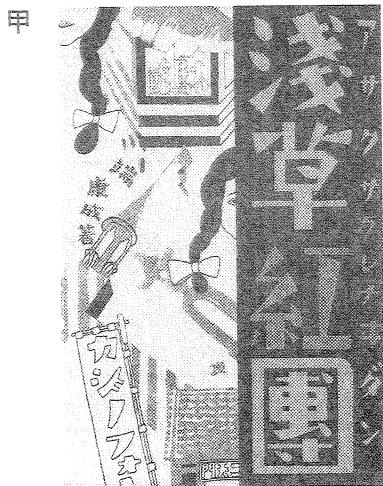
A 日本がはじめてオリンピックに参加したのは1912年の第5回ストックホルム大会で、日本選手はわずか2名であった。1920年代になると①国際連盟や多国間の条約のもとで国際平和がめざされるなか、オリンピックには参加国が増え、内容も充実していった。しだいに日本選手の競技力も高まり、第9回アムステルダム大会(1928年)では、2選手が金メダルを獲得し、初の女性選手である人見紹枝(きぬえ)も銀メダルを獲得する活躍をみせたのである。

こうしたなか、⑥関東大震災からの復興を遂げた東京ではオリンピック誘致の気運が高まり、1931年の市会による建議をうけて、オリンピック開催都市に名乗りをあげた。翌年の第10回ロサンゼルス大会に際しては、⑦満州事変後の厳しい国際世論のなかにあって、日本は前回の3倍を超える大選手団を送り込み、好成績を収めた。政情不安や不況が続くなか、国民は国際舞台での日本選手の活躍に喝采を送った。

問1 下線部①に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。17

- ① 日本はアメリカ、イギリス、ロシアとともに国際連盟の常任理事国となつた。
- ② アメリカの呼びかけに応じ、加藤友三郎内閣はワシントン会議への参加を決めた。
- ③ 四か国条約では、中国の主権尊重や各国の経済上の機会均等などが取り決められた。
- ④ 不戦条約(パリ不戦条約)では、国家の政策の手段としての戦争を放棄することが宣言された。

問 2 下線部⑥に関連して、関東大震災後の都市文化に関する次の図甲・乙に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 18



X 甲の著者は、プロレタリア文学運動の代表的な作家の一人である。

Y 乙は、新劇の劇団による公演のポスターである。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 3 下線部⑥に関連して、満州事変前後の出来事に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 19

I 犬養毅首相が海軍将校らに殺害された。

II 日中両軍の間で塘沽停戦協定が結ばれた。

III 金輸出を解禁し、金本位制に復帰した。

① I - II - III

② I - III - II

③ II - I - III

④ II - III - I

⑤ III - I - II

⑥ III - II - I

日本史A

B 1936年の国際オリンピック委員会(IOC)総会で、東京はヘルシンキを破り、1940年大会の開催都市に選ばれた。この総会のあと引き続いて開幕したベルリン大会では、①植民地出身者も日本選手団の一員として出場しており、朝鮮出身のマラソン選手孫基禎(ソンギジョン)が金メダルを獲得した。このときのラジオの実況放送は、「日本マラソンの四半世紀にわたる悲願が今や達成されました」と伝えた。この大会はまた、ナチス・ドイツの国威発揚と対外宣伝の舞台となり、『民族の祭典』と題された記録映画も制作された。②マス・メディアの発達は、ナショナリズムを高揚させる要因ともなった。

日中戦争が始まると、東京はオリンピックを辞退すべきであるとの声が国内外からあがり、第1次近衛文麿内閣は東京大会の中止を決定した。内閣はその理由を③「今や支那事変の推移は、長期戦の備えを一層堅くするがために物心両面にわたり、ますます国家の総力をあげて、事変の目的達成に一路邁進するを要する情勢にある」(『東京朝日新聞』1938年7月16日)ためだと説明した。

問4 下線部①に関連して、日本の朝鮮支配に関して述べた文として誤っているものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 20

- ① 初代朝鮮総督には寺内正毅が就任した。
- ② 朝鮮総督府は防穀令を出して、日本内地への米穀移出を禁じた。
- ③ 三・一独立運動を鎮圧したのち、朝鮮総督府は憲兵警察制度を廃止した。
- ④ 日中戦争期には、神社参拝や日本語の使用が強制された。

問 5 下線部②に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

- X 日本でもトーキー映画が制作・上映されるようになった。
Y ラジオから流れる美空ひばりの歌謡曲が人気を博した。

① X 正 Y 正
③ X 誤 Y 正

② X 正 Y 誤
④ X 誤 Y 誤



問 6 下線部①に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 22

- a 日中戦争は「大東亜共栄圏の建設」を目的として開始された。
b 近衛首相による「国民政府を^{あいて}対手とせず」との声明は、同政府との交渉による和平の道を閉ざした。
c 「挙国一致」をスローガンに、国民の戦意高揚と戦争協力を促す運動が行われていた。
d 日中戦争勃発後、ただちにアメリカは石油の対日輸出を禁じた。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

日本史A

C 第二次世界大戦後最初のロンドン大会には、⑧連合国の占領下にあった日本は参加できなかった。しかし講和条約が発効すると、ヘルシンキ大会で復帰を果たすとともに大会招致活動にも取り組み、その結果1964年オリンピック大会の東京開催が決まった。敗戦後の荒廃から復興した姿を世界にアピールすべく、準備には国家の威信をかけて取り組んだ。競技施設のほかに、鉄道や道路などに膨大な社会資本投資が行われ、経済成長を後押しした。

国民がオリンピックに熱狂するさなか、新聞には次のような投書が掲載された。

わたしは、いなかから上京して紡績会社で働いています。スポーツは大好きで、オリンピック競技を実際に観戦するのが夢でした。しかし、給料が安くて入場券が買えず、寮のテレビでがまんしています。わたしの働く工場は隅田川の支流の一つ、十間川沿いにあります。川の水はどろどろで、ごみが浮かび、ガスの発生で目や鼻が痛くなるほどです(『朝日新聞』1964年10月22日)。

このように、⑨高度経済成長のひずみがあらわになり始めていたのである。

問 7 下線部⑧に関連して、占領下に行われた農地改革に関する次の法律の条文に関して述べた下の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

23

第一条 この法律は、耕作者の地位を安定し、その労働の成果を公正に享受させるためアを急速且つ広汎に創設し、以て農業生産力の発展と農村における民主的傾向の促進を図ることを目的とする。

- a 空欄アに入る語句は「自作農」である。
- b 空欄アに入る語句は「兼業農家」である。
- c この改革により、地主の土地所有面積が制限された。
- d この改革の結果、寄生地主制が温存された。

① a・c

② a・d

③ b・c

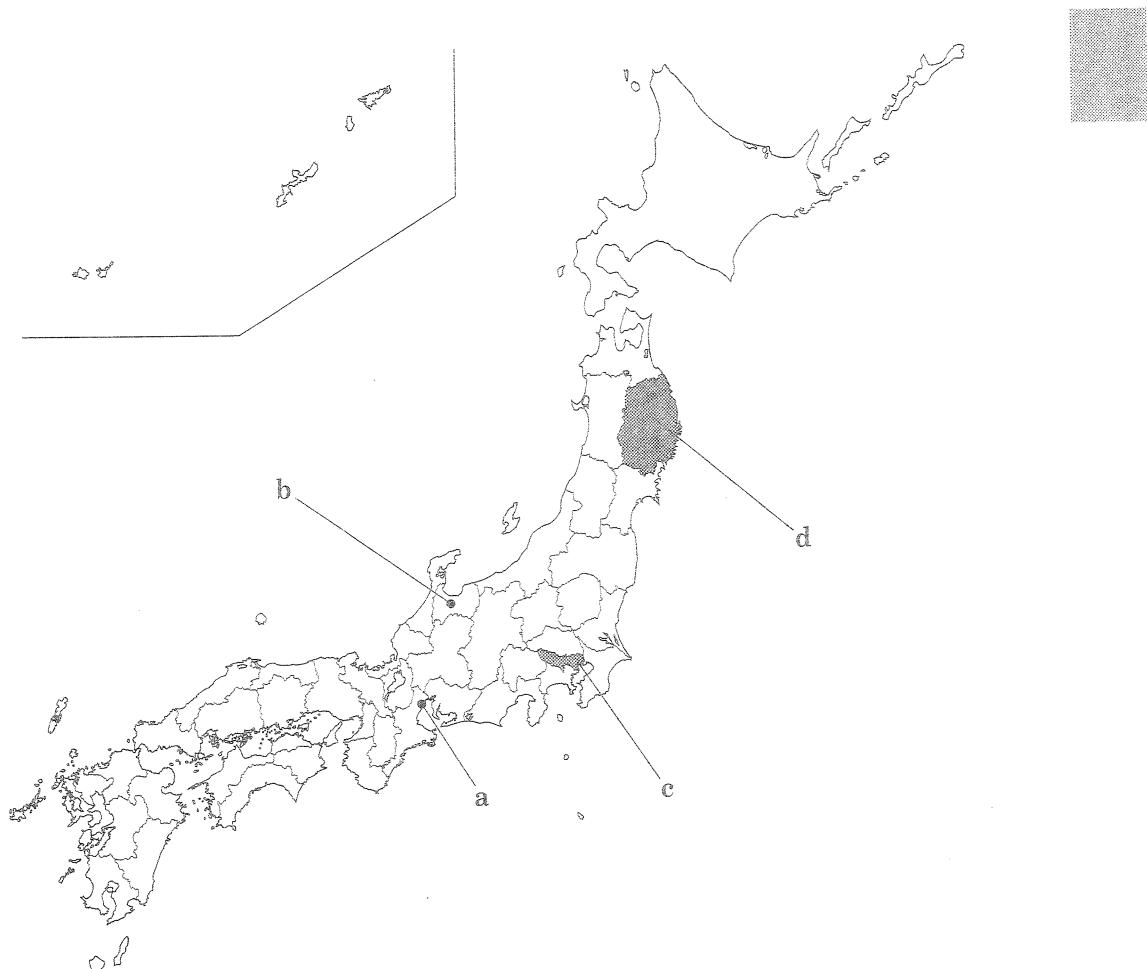
④ b・d

問 8 下線部①に関連して述べた次の文X・Yと、それに該当する下の地図上の位置a～dの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

24

X 石油化学コンビナートによる大気汚染を原因とする公害病が発生した。

Y 革新勢力の支持を受けて当選した美濃部亮吉知事が、公害規制や福祉政策に取り組んだ。



- ① X — a Y — c
③ X — b Y — c

- ② X — a Y — d
④ X — b Y — d

日本史A

第5問 大正期以降の日本における人々の労働について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い合わせ(問1～8)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 25)

A 第一次世界大戦は、日本の重化学工業が躍進する契機となった。たとえば、1913年から1918年にかけて、1000総トン以上の建造能力を持つ造船業者は5社から52社へ、従事する労働者の数も約2万6000人から約10万7000人へ急増した。熟練労働者の争奪も行われ、破格の好条件を手にする「成金職工」もあらわれたが、他方ではアも激しかったため、賃金引上げを求める労働運動や争議が頻発した。このような大戦期の経済発展や大衆運動の高揚のなかから、「大正デモクラシー」とよばれる①自由主義的・民主主義的な社会風潮も生まれた。

1925年に成立した②普通選挙法は、労働者にも政治参加の道を開き、1928年の総選挙では、労働組合・農民組合に支持された労働農民党などから8名の議員が当選した。しかし、同年に改正されたイによる取締りの強化などで、これらの勢力は打撃を受けた。

問1 空欄アイに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① ア 物価上昇 イ 保安条例
- ② ア 物価上昇 イ 治安維持法
- ③ ア 物価下落 イ 保安条例
- ④ ア 物価下落 イ 治安維持法

問 2 下線部⑥に関連して、大正期の思想・文化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 美濃部達吉が、『日本改造法案大綱』を著した。
- ② 伊波普猷が、沖縄の文化を研究した。
- ③ 石橋湛山が、植民地拡大論を主張した。
- ④ 本多光太郎が、医学研究で世界的評価を得た。

問 3 下線部⑦に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

X 「平民宰相」とよばれた原敬は普通選挙制の導入に積極的であったが、東京駅で暗殺された。

Y この選挙法のもとで、25歳以上の男性には納税額にかかわりなく選挙権が認められた。

- | | |
|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 |
| ③ X 誤 | Y 正 |

- | | |
|-------|-----|
| ② X 正 | Y 誤 |
| ④ X 誤 | Y 誤 |

日本史A

B 日中戦争勃発後の1938年に制定された国家総動員法は、「人的及物的資源ヲ統制運用スル」(第1条)権限を政府に与える法律であり、人々の労働に大きな影響をもたらすことになった。次の史料は、同法制定の翌年、ある企業の社内報に掲載された従業員向けの記事である。

史料

さて国家総動員法の制定せられた理由は、今更述べるまでもなく、近代戦は國家の総力を挙げての戦であるから、②人的物的両方面に亘って、統制運用を計り、有効に国力を發揮しうるやうにせねばならぬといふ趣旨によるものである。昔は軍隊の勝負によって、戦は終局を告げたのであったが、今日は銃後の国民の覚悟如何により、又その団結力の強弱によって、戦は有利にも不利にも導かれるのである。殊に軍隊の機械化が齎らす處の、我々が従事する軍需工業の使命の重大化については深き関心を払はねばならない。銃後の産業人の一員としてかくの如き役目を担ふ我々は、③召集されて戦線に立つ兵士の如き気持で、毎日の作業を遂行して行かねばならぬのである。

(東京自動車工業『労務課便り』1939年5月)

問4 下線部②に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 28

X この政府機関は、軍需品を優先的に生産させる物資動員計画を作成した。

Y この法令は、インフレーション対策として、国家総動員法にもとづき公布された。

a 内閣情報局(情報局)

b 企画院

c 金融緊急措置令

d 僱格等統制令

① X—a Y—c

② X—a Y—d

③ X—b Y—c

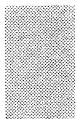
④ X—b Y—d

問 5 下線部①に関連して、戦時における日本軍の行動に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

29

- Ⅰ 沖縄でアメリカ軍と地上戦を行った。
Ⅱ 関東軍特種演習(関特演)という名目で満州に兵力を集めた。
Ⅲ 中国国民政府の首都である南京を占領した。

- ① Ⅰ—Ⅱ—Ⅲ ② Ⅰ—Ⅲ—Ⅱ ③ Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ
④ Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ ⑤ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ ⑥ Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ



日本史A

C 敗戦後の日本ではGHQによる一連の改革が推進され、労働政策も大きく変わった。労働者の団結権や団体交渉権が認められたほか、1947年には8時間労働制などを規定したウが制定された。また、②占領期における国民生活の困難を背景とする労働争議も多発した。

高度経済成長期に入ると、産業構造の変化が進み、若年層を中心とする労働者不足が起きた。それにともない、1950年代後半以降、中学を卒業したばかりの地方の若者が東京などの大都市へ働きに行くエがみられた。

経済成長と並行して、石炭から石油への①エネルギーの転換も進行した。その過程で発生した三池争議は大規模な闘争であったが、労働者側の敗北に終わった。

問 6 空欄ウ エに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。30

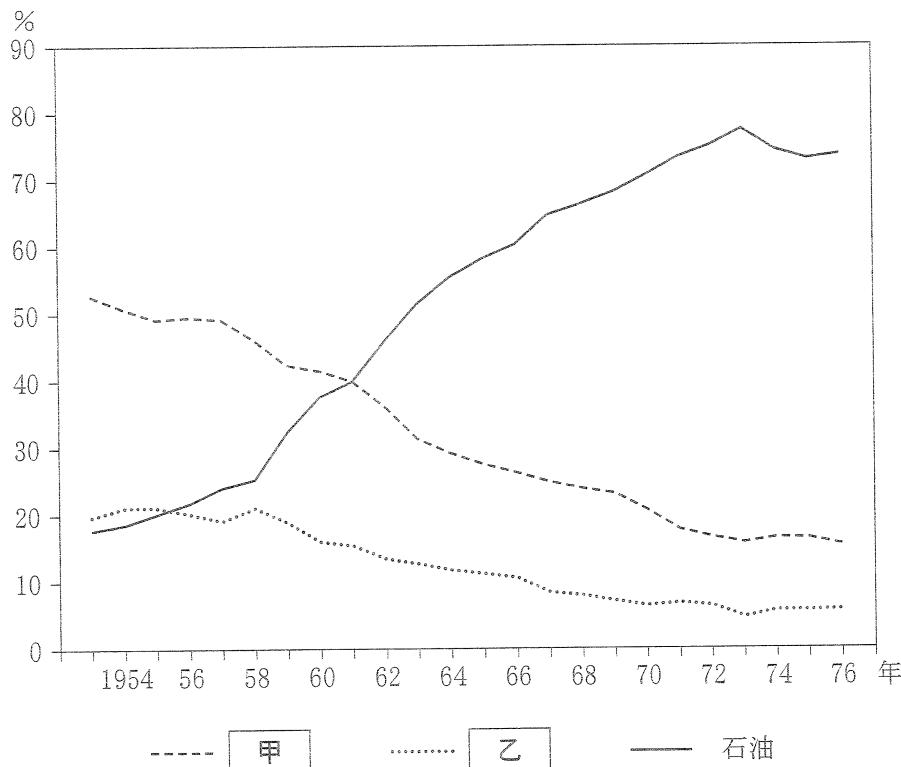
- | | |
|-----------|----------------|
| ① ウ 労働組合法 | エ 勤労動員(学徒勤労動員) |
| ② ウ 労働組合法 | エ 集団就職 |
| ③ ウ 労働基準法 | エ 勤労動員(学徒勤労動員) |
| ④ ウ 労働基準法 | エ 集団就職 |

問 7 下線部②に関連して、占領期の文化・教育について述べた文として誤っているものを、次の①~④のうちから一つ選べ。31

- | |
|--------------------------------|
| ① 教育制度が改革され、小学校と中学校が義務教育となった。 |
| ② 湯川秀樹が、日本人としてはじめてノーベル賞を受賞した。 |
| ③ 都道府県・市町村ごとに、任命制の教育委員会が設置された。 |
| ④ 岩宿遺跡などの発掘調査が行われ、考古学研究が進展した。 |

問 8 下線部①に関連して、日本における一次エネルギー供給(石油、石炭、水力)の構成比の推移を示した次のグラフに関して述べた下の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32

一次エネルギー供給(石油、石炭、水力)の構成比



(資源エネルギー庁『総合エネルギー統計』により作成)

- a 石炭の比率は甲である。
- b 石炭の比率は乙である。
- c 1974年に石油の比率が低下したのは、石油危機(石油ショック)の影響である。
- d 1974年に石油の比率が低下したのは、プラザ合意の影響である。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d